令和４年
秋田市における交通事故状況

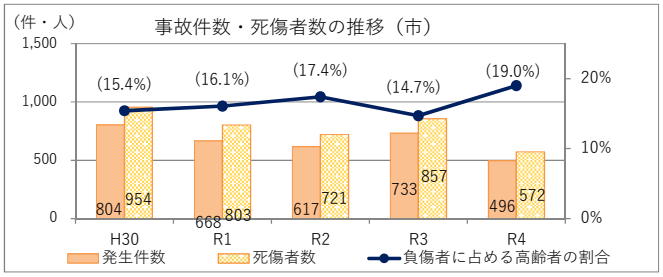
1．全体、年齢別交通事故発生件数、死者数、負傷者数（うち重傷者数）

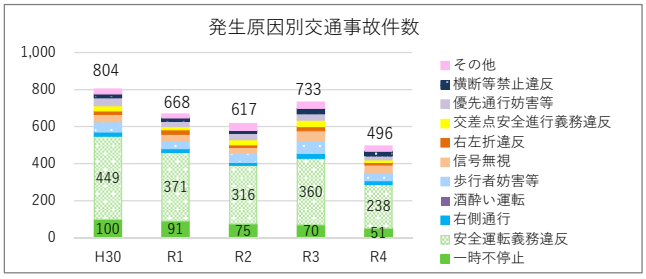
年	秋田県								秋田市							
	件数	死者数			負傷者数			重傷者数	件数	死者数			負傷者数			重傷者数
		全数	中学生以下	65歳以上	全数	中学生以下	65歳以上	全数		全数	中学生以下	65歳以上	全数	中学生以下	65歳以上	全数
H30	1,784	42	0 －	27 (64.3%)	2,144	94 (4.4%)	427 (19.9%)	282	804 (45.1%)	7 (16.7%)	0 －	5 (71.4%)	947 (44.2%)	36 (3.8%)	146 (15.4%)	79
R1	1,514	40	0 －	27 (67.5%)	1,830	86 (4.7%)	376 (20.5%)	250	668 (44.1%)	7 (17.5%)	0 －	2 (28.6%)	796 (43.5%)	28 (3.5%)	128 (16.1%)	71
R2	1,377	37	0 －	26 (70.3%)	1,655	82 (5.0%)	363 (21.9%)	251	617 (44.8%)	9 (24.3%)	0 －	6 (66.7%)	712 (43.0%)	29 (4.1%)	124 (17.4%)	81
R3	1,301	28	1 (3.6%)	23 (82.1%)	1,514	82 (5.4%)	321 (21.2%)	186	733 (56.3%)	6 (21.4%)	0 －	5 (83.3%)	851 (56.2%)	52 (6.1%)	125 (14.7%)	68
R4	1,157	33	0 －	21 (63.6%)	1,351	77 (5.7%)	331 (24.5%)	188	496 (42.9%)	4 (12.1%)	0 －	1 (25.0%)	568 (42.0%)	34 (6.0%)	108 (19.0%)	61

・第11次目標：R3～R7　年間交通事故死者数４人（27人）以下、重傷者数64人（200人）以下
※（　　）は県目標

2．発生原因別交通事故数

		H29	H30	R1	R2	R3	R4
総数		916	804	668	617	733	496
一時不停止		97	100	91	75	70	51
安全運転義務違反	ハンドル操作不適	9	3	3	2	8	1
	ブレーキ動作不適	96	103	77	43	94	68
	前方不注意	179	161	141	128	128	80
	動静不注視	92	87	54	50	47	35
	安全不確認	121	88	93	88	80	50
	安全速度	2	4	3	2	2	0
	予測不適	3	0	0	0	0	1
	その他	3	3	0	3	1	3
	計	505	449	371	316	360	238
右側通行		18	23	20	16	23	19
酒酔い運転		2	0	0	1	2	0
歩行者妨害等		60	55	42	47	72	45
信号無視		41	39	35	34	51	41
右左折違反		13	19	24	13	23	14
交差点安全進行義務違反		47	27	17	28	35	13
優先通行妨害等		56	44	30	34	34	21
横断等禁止違反		33	21	18	17	30	26
その他		44	27	20	36	33	28





○状況等

本市における令和４年中の交通事故は、発生件数496件、死傷者数572人で前年と比較して、発生件数は237件、死傷者数は285人とそれぞれ減少した。傷者数は減少したものの、負傷者数に占める高齢者の割合は過去5年間で最も高い状況にあるため、継続して高齢者の事故防止に取り組む必要がある。また、全県における交通事故のうち本市で発生している割合は約42.9%で、前年よりも13.4%減少している。

発生原因別事故では、前方不注意やブレーキ動作不適などの安全運転義務違反（全事故の48.0%）と一時不停止（全事故の10.3%）の法令違反の事故が多くなっている。

3．車種別の第一当事者となる交通事故発生件数、死者数、負傷者数（うち重傷者数）

年	区分＼場所	自転車		二輪車		乗用自動車		貨物自動車		その他(不明等)		合計
H30	発生件数	3	(0.4%)	2	(0.2%)	703	(87.4%)	95	(11.8%)	1	(0.1%)	804
	死者数	0	(0.0%)	1	(14.3%)	6	(85.7%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	7
	負傷者数	3	(0.3%)	2	(0.2%)	826	(87.2%)	115	(12.1%)	1	(0.1%)	947
	重傷者数	3	(3.8%)	1	(1.3%)	65	(82.3%)	10	(12.7%)	0	(0.0%)	79
R1	発生件数	3	(0.4%)	2	(0.3%)	586	(87.7%)	74	(11.1%)	3	(0.4%)	668
	死者数	0	(0.0%)	0	(0.0%)	6	(85.7%)	1	(14.3%)	0	(0.0%)	7
	負傷者数	3	(0.4%)	3	(0.4%)	698	(87.7%)	89	(11.2%)	3	(0.4%)	796
	重傷者数	0	(0.0%)	2	(2.8%)	61	(85.9%)	8	(11.3%)	0	(0.0%)	71
R2	発生件数	3	(0.5%)	3	(0.5%)	518	(84.0%)	90	(14.6%)	3	(0.5%)	617
	死者数	0	(0.0%)	0	(0.0%)	4	(44.4%)	5	(55.6%)	0	(0.0%)	9
	負傷者数	3	(0.4%)	5	(0.7%)	602	(84.6%)	99	(13.9%)	3	(0.4%)	712
	重傷者数	2	(2.5%)	0	(0.0%)	70	(86.4%)	9	(11.1%)	0	(0.0%)	81
R3	発生件数	5	(0.7%)	0	(0.0%)	628	(85.7%)	98	(13.4%)	2	(0.3%)	733
	死者数	0	(0.0%)	0	(0.0%)	3	(50.0%)	3	(50.0%)	0	(0.0%)	6
	負傷者数	5	(0.6%)	0	(0.0%)	735	(86.4%)	109	(12.8%)	2	(0.2%)	851
	重傷者数	2	(2.9%)	0	(0.0%)	58	(85.3%)	8	(11.8%)	0	(0.0%)	68
R4	発生件数	2	(0.4%)	0	(0.0%)	415	(83.7%)	73	(14.7%)	6	(1.2%)	496
	死者数	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(25.0%)	3	(75.0%)	0	(0.0%)	4
	負傷者数	2	(0.4%)	0	(0.0%)	479	(84.3%)	79	(13.9%)	8	(1.4%)	568
	重傷者数	2	(3.3%)	0	(0.0%)	49	(80.3%)	9	(14.8%)	1	(1.6%)	61

4．類型別交通事故発生件数、死者数、負傷者数（うち重傷者数）

事故類型		人 対 自動車				自転車 対 自動車				自動車相互				車両単独			
年次	総数	発生件数	死者数	負傷者数	重傷者数	発生件数	死者数	負傷者数	重傷者数	発生件数	死者数	負傷者数	重傷者数	発生件数	死者数	負傷者数	重傷者数
H30	804	95	4	94	29	111	2	109	18	583	0	730	27	15	1	14	5
R1	668	81	5	82	14	102	0	102	16	479	2	604	39	6	0	8	2
R2	617	84	4	83	27	109	1	108	20	414	2	512	30	8	2	7	3
R3	733	103	4	100	30	140	1	139	17	479	1	601	18	6	0	6	1
R4	496	65	0	67	26	65	0	65	11	355	2	426	20	9	2	8	2

事故類型	人 対 自転車				自転車相互				自転車単独				列車			
年次	発生件数	死者数	負傷者数	重傷者数	発生件数	死者数	負傷者数	重傷者数	発生件数	死者数	負傷者数	重傷者数	発生件数	死者数	負傷者数	重傷者数
H30	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
R1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
R2	1	0	1	0	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
R3	5	0	5	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
R4	0	0	0	0	2	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0

5．安全運転管理者選任事業所の事故発生件数、死者数、負傷者数 ※重傷者数統計なし

年＼区分	事業所数	発生件数		死者数		負傷者数	
H30	1,300	176	(21.9%)	1	(14.3%)	204	(21.5%)
R1	1,297	162	(24.3%)	1	(14.3%)	196	(24.6%)
R2	1,315	141	(22.9%)	2	(22.2%)	160	(22.5%)
R3	1,335	149	(20.3%)	0	(0.0%)	173	(20.3%)
R4	1,477	123	(24.8%)	1	(25.0%)	135	(23.8%)

○状況等

交通事故の第一当事者を車種別に見ると、乗用・貨物自動車の発生件数が全事故の約98.4％と最も多い。

発生件数の類型別で最も多いのは自動車相互の355件（全事故の71.6％）で、次いで人対自動車、自転車対自動車がそれぞれ65件（同13.1％）となっている。

安全運転管理者選任事業所が起こした事故数は123件（全事故の24.8％）、負傷者数は135人（同23.8％）とそれぞれ前年よりも増加しており、死者数は1人となっている。

6．道路別交通事故事故発生件数、死者数、負傷者数（うち重傷者数）

種別		国道				県道	市道	自専道	その他道路	合計
		7号	13号	341号	計					
H30	発生件数	65	64	0	129	247	368	9	51	804
	死者数	3	1	0	4	1	2	0	0	7
	負傷者数	73	79	0	152	316	411	9	59	947
	重傷者数	6	9	0	15	27	34	0	3	79
R1	発生件数	52	50	2	104	213	306	8	37	668
	死者数	2	1	0	3	2	2	0	0	7
	負傷者数	67	61	5	133	262	347	11	43	796
	重傷者数	3	7	2	12	17	41	0	1	71
R2	発生件数	56	58	0	114	191	262	3	47	617
	死者数	1	2	0	3	3	1	0	2	9
	負傷者数	68	71	0	139	227	292	3	51	712
	重傷者数	9	3	0	12	25	40	0	4	81
R3	発生件数	62	42	0	104	241	342	2	44	733
	死者数	2	0	0	2	2	2	0	0	6
	負傷者数	78	51	0	129	278	395	2	47	851
	重傷者数	8	2	0	10	16	35	0	7	68
R4	発生件数	46	35	0	81	137	242	0	36	496
	死者数	0	1	0	1	0	3	0	0	4
	負傷者数	65	41	0	106	147	275	0	40	568
	重傷者数	5	1	0	6	18	32	0	5	61

※「その他道路」とは、港湾道路・林道・農免道路・公園道路等である。

7．道路地形別、形状別、線形別交通事故事故発生件数、死者数、負傷者数（うち重傷者数）

種別		地形			形状					線形			
		市街地	非市街地	計	交差点	単路	踏切	一般交通の場	計	カーブ	直線	一般交通の場	計
H30	発生件数	714	90	804	469	289	0	46	804	25	733	46	804
	死者数	6	1	7	2	5	0	0	7	1	6	0	7
	負傷者数	839	108	947	556	337	0	54	947	28	865	54	947
	重傷者数	64	15	79	52	25	0	2	79	3	74	2	79
R1	発生件数	607	61	668	411	228	0	29	668	24	615	29	668
	死者数	5	2	7	3	4	0	0	7	0	7	0	7
	負傷者数	717	79	796	481	283	0	32	796	32	732	32	796
	重傷者数	60	11	71	49	22	0	0	71	6	65	0	71
R2	発生件数	552	65	617	406	167	0	44	617	25	548	44	617
	死者数	8	1	9	3	4	0	2	9	1	6	2	9
	負傷者数	629	83	712	472	193	0	47	712	30	635	47	712
	重傷者数	69	12	81	57	20	0	4	81	2	75	4	81
R3	発生件数	674	59	733	493	199	1	40	733	23	670	40	733
	死者数	4	2	6	5	1	0	0	6	0	6	0	6
	負傷者数	782	69	851	574	233	1	43	851	25	783	43	851
	重傷者数	62	6	68	45	17	0	6	68	4	58	6	68
R4	発生件数	454	42	496	313	152	0	31	496	18	447	31	496
	死者数	3	1	4	4	0	0	0	4	0	4	0	4
	負傷者数	522	46	568	356	178	0	34	568	22	512	34	568
	重傷者数	57	4	61	41	15	0	5	61	5	51	5	61

※市街地：道路に沿っておおむね500メートル以上にわたって住宅、事業所等が連立している状態であり、その地域における建造物（敷地を含む。）の占める割合が80%になるいわゆる市街地的形態をなしている地域をいう。

○状況等

交通事故発生件数を道路別で見ると、市道が242件（全事故の48.8%）、県道が137件（同27.6%）、国道が81件（同16.3%）、その他道路が36件（同7.3%）、自動車専用道路が0件となっているが、道路延長距離から見た10ｋｍ当たりの発生件数は、国道が最も高くなっている。（※参考：道路別10ｋｍ当たりの発生件数　国道15.6件、県道3.9件、市道1.2件）。

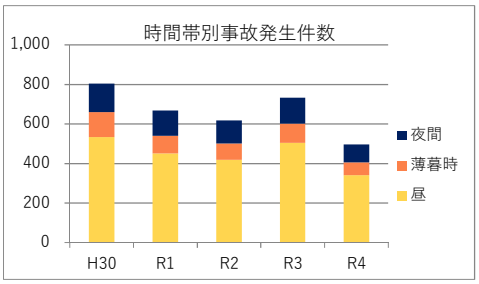
道路の地形別で見ると非市街地より市街地（全事故の91.5%）での事故が多く、道路形状別では交差点（同63.1%）での事故が多い。また、道路線形別では、直線での事故（同90.1%）が最も多い。

8．時間別　昼(日の出～日没まで（薄暮時を除く)、薄暮時(日の出・日没の前後１時間)、夜間(日没～日の出まで)における交通事故件数、死者数、負傷者数（うち重傷者数）

年	区分＼時間帯	昼		薄暮時		夜間		合計
H30	発生件数	534	(66.4%)	126	(15.7%)	144	(17.9%)	804
	死者数	3	(42.9%)	0	－	4	(57.1%)	7
	負傷者数	630	(66.5%)	150	(15.8%)	167	(17.6%)	947
	重傷者数	46	(58.2%)	12	(15.2%)	21	(26.6%)	79
R1	発生件数	451	(67.5%)	89	(13.3%)	128	(19.2%)	668
	死者数	3	(42.9%)	0	－	4	(57.1%)	7
	負傷者数	548	(68.8%)	101	(12.7%)	147	(18.5%)	796
	重傷者数	52	(73.2%)	7	(9.9%)	12	(16.9%)	71
R2	発生件数	419	(67.9%)	82	(13.3%)	116	(18.8%)	617
	死者数	4	(44.4%)	0	－	5	(55.6%)	9
	負傷者数	479	(67.3%)	95	(13.3%)	138	(19.4%)	712
	重傷者数	50	(61.7%)	8	(9.9%)	23	(28.4%)	81
R3	発生件数	504	(68.8%)	98	(13.4%)	131	(17.9%)	733
	死者数	2	(33.3%)	0	－	4	(66.7%)	6
	負傷者数	588	(69.1%)	105	(12.3%)	158	(18.6%)	851
	重傷者数	48	(70.6%)	8	(11.8%)	12	(17.6%)	68
R4	発生件数	341	(68.8%)	64	(12.9%)	91	(18.3%)	496
	死者数	3	(75.0%)	0	(0.0%)	1	(25.0%)	4
	負傷者数	391	(68.8%)	74	(13.0%)	103	(18.1%)	568
	重傷者数	36	(59.0%)	9	(14.8%)	16	(26.2%)	61

9．飲酒事故発生件数、死者数、負傷者数（うち重傷者数）

	飲酒運転							
年＼区分	件数		死者数		負傷者数		重傷者数	
H30	12	(1.5%)	0	－	15	(1.6%)	0	－
R1	6	(0.9%)	0	－	8	(1.0%)	0	－
R2	4	(0.6%)	0	－	4	(0.6%)	0	－
R3	4	(0.5%)	0	－	8	(0.9%)	0	－
R4	5	(1.0%)	0	－	6	(1.1%)	1	(1.6%)



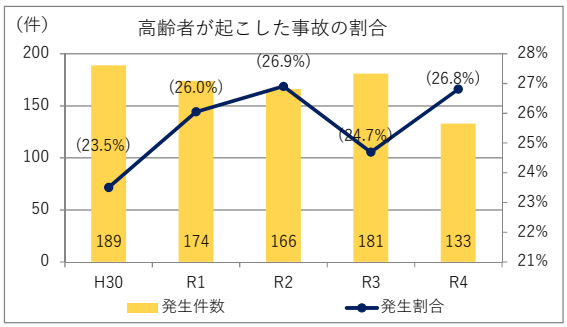
○状況等

交通事故発生件数を時間帯別に見ると、昼が341件（事故全体の68.8%）、夜間が91件（同18.3%）、薄暮時が64件（同12.9%）となっており、全ての時間帯において、前年と比較して事故数は減少、発生件数全体に占めるそれぞれの割合は横ばいとなっている。

また、交通事故の総数に占める飲酒事故の割合は低い水準で推移している。しかし、依然として事故はなくならず、平成30年以降は死者こそ出ていないものの、重傷者が1名発生している状況である。

10.　発生事故のうち高齢者が起こした事故数、死者数、負傷者数（うち重傷者数）

	発生件数		死者数		負傷者数		重傷者数	
H30	189	(23.5%)	2	(28.6%)	225	(23.8%)	27	(34.2%)
R1	174	(26.0%)	2	(28.6%)	210	(26.4%)	18	(25.4%)
R2	166	(26.9%)	2	(22.2%)	189	(26.5%)	24	(29.6%)
R3	181	(24.7%)	0	(0.0%)	215	(25.3%)	19	(27.9%)
R4	133	(26.8%)	1	(25.0%)	143	(25.2%)	22	(36.1%)



11.　高齢者の死傷状況

		H29		H30		R1		R2		R3		R4	
高齢死者数		2		5		2		6		5		1	
歩行中		2	(100.0%)	3	(60%)	2	(100.0%)	3	(50.0%)	4	(80.0%)	0	(0.0%)
自転車運転中		0	–	2	(40%)	0	–	1	(16.7%)	1	(20.0%)	0	(0.0%)
車運転中		0	–	0	–	0	–	2	(33.3%)	0	–	1	–
車同乗中		0	–	0	–	0	–	0	(0.0%)	0	–	0	–
高齢者負傷者数		167		146		128		124		125		108	
歩行中		38	(22.8%)	30	(20.5%)	21	(16.4%)	29	(23.4%)	33	(26.4%)	24	(22.2%)
自転車運転中		26	(15.6%)	26	(17.8%)	24	(18.8%)	23	(18.5%)	21	(16.8%)	13	(12.0%)
車運転中		73	(43.7%)	63	(43.2%)	57	(44.5%)	55	(44.4%)	56	(44.8%)	48	(44.4%)
車同乗中		30	(18.0%)	27	(18.5%)	26	(20.3%)	17	(13.7%)	15	(12.0%)	23	(21.3%)
	高齢者重傷者数	37		29		25		35		33		30	
	歩行中	19	(51.4%)	14	(48.3%)	9	(36.0%)	17	(48.6%)	17	(51.5%)	15	(50.0%)
	自転車運転中	10	(27.0%)	6	(20.7%)	5	(20.0%)	7	(20.0%)	6	(18.2%)	7	(23.3%)
	車運転中	5	(13.5%)	5	(17.2%)	8	(32.0%)	8	(22.9%)	5	(15.2%)	5	(16.7%)
	車同乗中	3	(8.1%)	4	(13.8%)	3	(12.0%)	3	(8.6%)	5	(15.2%)	3	(10.0%)

○状況等

交通事故発生件数の減少に伴い、高齢者が起こした事故件数も133件と、前年と比較して48件減少している。しかし、全事故に占める高齢者が起こした事故の割合は昨年度より2.1%増加している。

また、高齢者の死傷状況は、死者4人のうち高齢死者1人と全死者の25.0%であり、車運転中に事故にあっている。負傷者は568人のうち高齢者が108人で全負傷者の19.0%だが、重傷者は61人のうち高齢者が30人で全重傷者の49.2%を占めており、高齢者ほど重傷事故となるケースが多い状況である。状態別で見ると、車運転中が48人で高齢負傷者の44.4%と最も多い。

12.　子どもの死傷状況

		H29		H30		R1		R2		R3		R4	
子ども死者数		0		0		0		0		0		0	
歩行中		0	–	0	–	0	–	0	–	0	–	0	–
自転車運転中		0	–	0	–	0	–	0	–	0	–	0	–
車同乗中		0	–	0	–	0	–	0	–	0	–	0	–
子ども負傷者数		64		36		28		29		52		34	
全負傷者数に対する割合		6.8%		4.5%		3.9%		3.4%		9.2%		6.0%	
歩行中		13	(20.3%)	9	(25.0%)	7	(25.0%)	4	(13.8%)	19	(36.5%)	10	(29.4%)
自転車運転中		13	(20.3%)	12	(33.3%)	6	(21.4%)	3	(10.3%)	13	(25.0%)	11	(32.4%)
車同乗中		38	(59.4%)	15	(41.7%)	15	(53.6%)	22	(75.9%)	20	(38.5%)	13	(38.2%)
	子ども重傷者数	7		6		4		1		8		7	
	歩行中	1	(14.3%)	3	(50.0%)	2	(50.0%)	0	–	6	(75.0%)	0	–
	自転車運転中	6	(85.7%)	3	(50.0%)	2	(50.0%)	0	–	2	(25.0%)	2	(28.6%)
	車同乗中	0	–	0	–	0	–	1	(100.0%)	0	–	5	(71.4%)

13.　ゾーン30の指定区域数　　※令和５年３月末現在

警察署名	区域数	指定区域場所
臨港署	6	飯島南小・飯島中、高清水小・将軍野中、土崎南小、土崎小、寺内小、土崎港中央（病院・高齢者施設付近）
中央署	14	中通小学校、牛島小学校、旭北小学校・山王中学校、八橋小学校、勝平小学校、日新小学校、明徳小学校、保戸野すわ町・中町・通町、旭南小学校付近、川尻小学校、泉・八橋、仁井田小学校付近、築山小学校、大住小学校
東　署	4	東小、旭川小、広面小、桜小・桜中付近

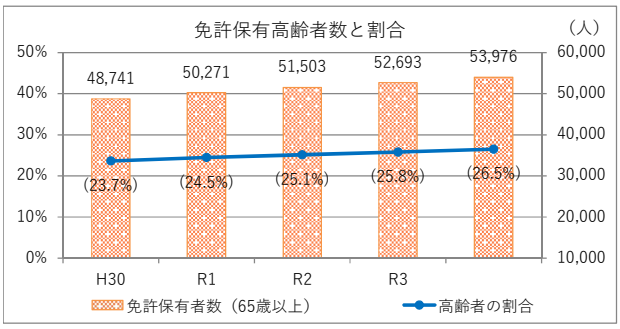
○状況等

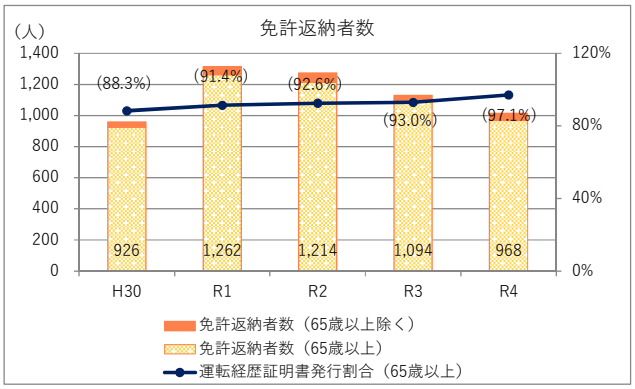
子どもの死傷状況では、平成26年から死者数はなし。負傷者は34人で全事故負傷者数の6.0%となっている。令和２年度まで減少傾向にあった子どもの負傷者数の割合は昨年度増加したものの、今年度は減少している。

状態別で見ると、車同乗中が13人（38.2%）で前年と割合は大きく変わらないのに対し、自転車運転中が11人（32.4%）と、前年に比べて割合が7.4%増加している。重傷者についても自転車運転中の事故による案件が毎年発生していることから、子どもへの効果的な交通安全教育等を一層推進する必要がある。

14. 免許人口、免許返納者数

年度		免許保有者数		免許返納者数	運転経歴証明書発行者数	返納割合	運転経歴証明書発行割合
H30	総数		205,974	959	846	0.5%	88.2%
	うち65歳以上	48,741	(23.7%)	926	818	1.9%	88.3%
R1	総数		205,264	1,314	1,201	0.6%	91.4%
	うち65歳以上	50,271	(24.5%)	1,262	1,153	2.5%	91.4%
R2	総数		204,801	1,273	1,178	0.6%	92.5%
	うち65歳以上	51,503	(25.1%)	1,214	1,124	2.4%	92.6%
R3	総数		204,260	1,130	1,048	0.6%	92.7%
	うち65歳以上	52,693	(25.8%)	1,094	1,017	2.1%	93.0%
R4	総数		203,674	1,014	978	0.5%	96.4%
	うち65歳以上	53,976	(26.5%)	968	940	1.8%	97.1%





・免許返納にかかる協賛店舗数(県警ホームページより)
373店舗(全県)うち秋田市48店舗　※令和5年1月1日現在

○状況等
免許返納者総数、65歳以上の免許返納者数ともに、令和２年以降減少に転じている。また、返納者の大半が運転経歴証明書の交付を受けており、証明書発行割合は過去５年間で最も高くなった。

15. シートベルト着用率（全県）

	シートベルト着用率(%)		
年＼区分	運転席	助手席	後部座席
H30	99.6	96.0	44.7
R1	99.6	96.8	38.2
R2	99.4	98.4	41.3
R3	99.6	94.6	48.5
R4	99..8	98.0	42.9

※一般道においてＪＡＦと合同調査(毎年10月中の３日間)

○状況等
運転席や助手席においてはほとんどの人がシートベルトを着用しているが、後部座席での着用率は4割程度に留まっている。
全国平均は、運転席99.1%、助手席96.9%、後部座席42.9%であり、秋田県のシートベルト着用率は全国平均を上回っている。

16. 踏切事故発生件数

	発生件数
H29	0
H30	0
R1	0
R2	0
R3	1
R4	0

17. 冬期間事故発生件数（12月～３月）

	H29	H30	R1	R2	R3	R4
発生件数	302	251	185	279	229	179
死者数	1	0	6	5	0	0
負傷者数	356	293	216	339	275	211
重傷者数	27	18	26	24	27	28

○状況等
令和4年度は踏切事故の発生がなかった。
冬期間の事故発生状況については、発生件数、負傷者数はいずれも前年と比較して減少したものの、重傷者数は28人と1人増えている。また、全重傷者に占める割合は45.9%と高く冬期間の事故は重傷事故につながるがケース多い状況である。そのため、冬期間の交通安全について引き続き啓発等の安全対策に取り組む必要がある。